

<指導事例2> 国語総合「文章を読み比べ、内容について批評する文章を書く事例」

【学習活動の概要】

1 単元名 読み比べることで「羅生門」の主題を考えよう

2 単元の目標

- ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えたりしようとする。 (関心・意欲・態度)
- ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えたりする。 (読む能力)
- ・文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解している。 (知識・理解)

3 取り上げる言語活動と教材

- (1) 言語活動 さまざまな文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。
- (2) 教材 小説「羅生門」芥川龍之介、『今昔物語集 卷二九第一八』

4 単元の具体的な評価規準【P.22資料1】

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容や表現の仕方について、規準や根拠を明確にして判じようとしている。 ・段落に注目するなどして、書き手の思考の流れから強調点を読み取り、執筆動機や表現意図を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容や表現の仕方について、規準や根拠を明確にして判じている。 ・段落に注目するなどして、書き手の思考の流れから強調点を読み取り、執筆動機や表現意図を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解している。

5 単元の指導計画

(1) 学習活動の概略

本単元では、同じ題材を扱った古典の作品と近代の小説である「羅生門」を読み比べ、小説の主題について文章を書く。

(2) 指導上の留意点

作者が作品に付け加えた部分や改変した部分に注目することにより書き手の意図が読み取れることに気付かせる。

次	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点

<p>第1次</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「羅生門」のあらすじをつかみ、ワークシート1【P.24資料2】にまとめる。 ・「羅生門」を読み、内容を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細部にこだわらず概略をまとめさせる。 ・表現の特色や語句や語彙についても指導する。
<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解している。 (知識・理解) <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「記述の確認」ワークシート1【P.24資料2】・ノート 		
<p>第2次</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート2【P.25・26資料3】により『今昔物語集』を読み、「羅生門」との違いを確認する。 ・自己評価シート【P.27資料4】により自己評価を行う ・ワークシート3【P.28資料5】を用い内容や表現の違いの理由をグループで話し合う。 ・他のグループの意見を聞き、考えをより深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『今昔物語集』については筋の違いに注目させるため、部分訳や語注を参考にさせる。 ・時間的余裕があれば、気が付いた相違点やそれについて考えたことを発表させる。 ・いくつかの相違点の中で特に考えさせたい点について絞り込みを行う。 ・グループで出された意見を代表に全体の場で発表させる。
<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの文章の表現の特徴を規準や根拠を明確にして理解している。 (読む能力) <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「記述の確認」ワークシート2【P.25・26資料3】 		
<p>第3次</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート3【P.28資料5】により気付いたことから「羅生門」の主題についてグループで話し合う。 ・話し合ったことを参考に主題について自分が考えたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「羅生門」に見られる特徴から作者の意図を考え、主題の理解に進める。 ・グループで自由に意見交換を行うが、その際にいくつかの主題を提示し参考にさせる。 ・作品の主題について自分が考えたことをまとめさせる。
<p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の展開の違いに注目し、作品の執筆動機や主題について考えようとしている。 (関心・意欲・態度) 		

	<p>【評価方法】</p> <p>・「行動の観察」グループ討論</p>	
第4次	<p>・作品の主題について書いたものを相互評価シート【P. 29資料6】により相互に評価する。</p> <p>・自己評価シート【P. 30資料7】により自己評価を行い、取り組みを通して気付いたことをまとめる。</p>	<p>・相互評価を多数の生徒と行わせ、自分以外の考え方に気付き、作品に対する理解を深めさせる。</p> <p>・自己評価を行わせ、新たに気付いたことや考えたことをまとめさせる。</p>
<p>【評価規準】</p> <p>・物語の展開の違いに注目し、作品の執筆動機や主題について考えている。 (読む能力)</p> <p>【評価方法】</p> <p>・「記述の分析」ワークシート3【P. 28資料5】・自己評価シート【P. 30資料7】</p>		

6 第3・4次の指導計画 (2時限相当)

学習段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点と評価の実際
展開1	<p>前次の発表の確認をグループ内で行う。</p> <p>主題について話し合う。</p>	<p>①前次にそれぞれのグループから発表された点について、内容の確認をグループ内で行う。</p> <p>②問について話し合ったことを参考に主題は何かグループ内で話し合いワークシート3【P. 28資料5】に記入する。</p>	<p>①・以下の3つの問いについてそれぞれの発表内容を確認させる。</p> <p>a 『今昔物語集』でははじめから盗人であった主人公を暇を出された若い下人としたのはなぜか。</p> <p>b 『今昔物語集』では老婆の着物も死人の着物も髪の毛も奪っていったが、「羅生門」では老婆の着物だけ奪っていったのはなぜか。</p> <p>c 結末部分を「下人の行方は、誰も知らない。」としたのはなぜか。</p> <p>②・作者が作品に意図的に付け加えた部分から作品への思いが読み取れることを示し、主題について自由に話をさせ、考えを深めさせる。その際次の4つの主題を提示し考える参考にさせる。</p> <p>a 人間のエゴイズムの悲しさ</p> <p>b 生への執着の肯定</p> <p>c 倫理意識からの解放</p> <p>d 若者の自立の困難</p>

	主題について考えたことをまとめる。	③グループでの話し合いを基に主題について自分が考えたことをワークシート3【P.28資料5】にまとめる。	★グループ討論での「行動の観察」により評価を行う。 ③・話し合いを基に作品の主題について、題名をつけて考えたことを400字程度でまとめさせる。
展開2	他の考えを知り自己の考えを広げる	④ワークシート3【P.28資料5】の記述を相互評価シート【P.29資料6】を用いて相互評価する。 ⑤自分に対する相互評価シート【P.29資料6】の内容を確認する。 ⑥自己評価シート【P.30資料7】を用いて自己評価を行い、取り組みを通して気付いたことをまとめる。	④・相互評価シート【P.29資料6】により、他の生徒の書いたものを相互評価させる。 ⑤・相互評価シート【P.29資料6】を回収、配布し内容を確認させる。 ⑥・自己評価シート【P.30資料7】により評価させ、その後ワークシート3【P.28資料5】、自己評価シート【P.30資料7】を回収する。 ★ワークシート3【P.28資料5】・自己評価シート【P.30資料7】の「記述の分析」により評価を行う。

7 指導事例と学習指導要領の関連

本事例の指導事項は、次のとおりである。

エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 「国語総合」内容「C読むこと」の(1)

この指導事項を指導するのにふさわしいと考えた言語活動は次のとおりである。

ア 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。 「国語総合」内容「C読むこと」の(2)

【言語活動の設定理由】

本事例の指導事項である「文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること」の下線部分に特に重点を置き、「様々な文章を読み比べ」ることによって「文章の構成や展開」がより明確となり、「書き手の意図」や主題を考えるにあたっての糸口となると考え「様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べた

り批評する文章を書いたりすること」の言語活動を設定した。

【資料1】「具体的な評価規準の設定例（読む能力）」

【学習指導要領】 (1) 次の事項について指導する。	「話す・聞く能力」に関する評価規準の設定例（12項目）	重点化	言語活動における具体的な評価規準の設定例
ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	a ① 文学的な文章について、内容と、形態に応じた表現の特色とを理解して文章を読んでいる。		・それぞれの文章について、内容に応じた表現の特色を理解して文章を読んでいる。
	a ② 論理的な文章について、内容と、形態に応じた表現の特色とを理解して文章を読んでいる。		・該当なし
	a ③ 実用的な文章について、内容と、形態に応じた表現の特色とを理解して文章を読んでいる。		・該当なし
イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	b ① 文脈をとらえ、語句や表現に注意して、筆者の考えなどを過不足無く理解している。		・それぞれの文章を語句や表現に注意して理解し、物語の設定や内容を理解している。
	b ② 読む必要に応じて、文章を要約している。		・それぞれの文章を比較するために要約している。
	b ③ 読む必要に応じて、文章の一部を詳述している。		・登場人物の行動の意味や結果について考える際に、本文の内容に即して詳しく説明している。
ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	c ① 表現に即して、登場人物の、行動や性格、ものの見方、感じ方、考え方、ひいては生き方を的確に捉えて、人物個々の心情の変化や、人物相互の関係の変容を読み取っている。		・作品それぞれの内容の違いから、ものの見方、考え方の違いを理解している。
	c ② 情景が、人物の反映や象徴、物事が起こる予兆などとして設定されていることを理解し、表現に即して、人物の言動、置かれている状況を理解する手がかりとしている。		・作品それぞれにおける情景描写の特徴を捉え、登場人物の行動や置かれている状況を理解する手がかりとしている。
	c ③ 登場人物の心情に思いを致し、自らの生き方と重ね合わせて共感		・登場人物の心情に思いを致し、自らの生

	したり反発したりしている。	き方と重ね合わせて感想をもっている。
エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	d ① 文章の組立て等の構成と、考えの進め方や内容の推移等の展開を確かめている。	・物語の展開を捉え、登場人物の置かれた状況と行動のつながりを理解している。
	d ② 文章の内容や表現の仕方について、規準や根拠を明確にして判断することができる。	○ ・それぞれの文章の表現の特徴を基準や根拠を明確にして理解している。
	d ③ 段落に注目するなどして、書き手の思考の流れから強調点を読み取り、執筆動機や表現意図を考えている。	○ ・物語の展開の違いに注目し、作品の執筆動機や主題について考えている。
オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。	e ① 文学的、論理的、実用的文章等幅広い形態の、多様な内容の文章を、さまざまな方法で探して読んでいる。	・該当なし
	e ② 本や文章によって得た情報を選択、評価、加工している。	・該当なし
	e ③ 幅広く本や文章を読み、書き手の意図を捉え、読み味わうことによって自分なりの考えをもつようになっている。	・作品を比較して読むことにより、書き手の意図を考え、作品について自分なりの考えをもつようになっている。

【資料3-①】 一年生 現代文 「物語を比較しあらすじをまとめよう」(ワークシート2)

次の文章は「羅生門」のもとになった「今昔物語集」の文章である。これを読み後の問に答えよ。

らせいもん うはこし こと
羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の語

今は昔、摂津の国のほとりより、盗み盗みをしようとするためせむがために京に上りける男の、日のいまだ明かりければ、
羅城門の下に立ち隠れて立てりけるに、朱雀朱雀大路の方に人が多く行ったための方方に人しげく行きければ、人の静まるまでと思ひて、
門の下に待ち立てりけるに、山城の方より人どものあまた来たる音のしければ、それに見えじと思ひその人々に見られないよう
にしようと思つて、門の2階にそつとよじ登つたところ
て、門の上層にやはらかかつり登りたりけるに、見れば、火ほのかにともしたり。

盗人、「あやし。」と思ひて、連子よりのぞきければ、若き女若い女で、死んで横たわっている女がいた。の、死にて臥したるあり。その枕上
に火をともして、年いみじく老いたる媼の、白髪白きが、その死人の枕上にゐて、死人の髪をかなぐ
り抜き取るなりけり。

盗人これを見るに、心も得ねば、「これはもし鬼納得がいかないので、「これはもしかしたら鬼であろうか。」にやあらむ。」と思ひて恐ろしけれども、「もし死もしかして
死んだ者の霊かもしれない。脅して試してみよう。」
人にてもぞある、脅して試みむ。」と思ひて、やはら戸を開けて、刀を抜きて、

「己は、己は。」

と言ひて走り寄りければ、媼、手惑ひをして、手を摺りて惑へば、盗人、

「これはどんな老婆これはどんな老婆がこのようにしているのか。」がこのようにしているのか。」
「こは何ぞの媼の、かくはしめたるぞ。」

と問ひければ、媼、

私の主人でいらつした人が亡くなりなきて、葬る人がいないので、
「己があるじにておはしましつる人の失せたまへるを、あつかふ人のなければ、かくて置きたてま
その髪が背丈以上に長いので かつらにしよう 助けて下さい
つりたるなり。その御髪その髪が背丈以上に長いのでの丈に余りて長ければ、それを抜き取りて鬢かつらにしようにせむとて抜くなり。助けたま
へ。」

と言ひければ、盗人、死人の着たる衣と媼の着たる衣と、抜き取りてある髪とを奪ひ取りて、下り走
りて逃げて去りにけり。

さてその上の層には死人の骸骨ぞ多かりける。死にたる人の、葬りなどえせぬをば、この門の上に
ぞ置きける。

このことは、その盗人の人に語りけるを聞き継ぎて、かく語り伝へたとや。

『今昔物語集』巻第二九第一八

※この資料は掲載の都合上横書きになっているが、もとは縦書きである。

【資料4】

1年現代文

「今昔物語と羅生門」自己評価票

組 番

1. 自己評価

↓どちらかに○をつける

「羅生門」のあらすじを理解していた。	はい ・ いいえ
「今昔物語集」の文章のあらすじを理解していた。	はい ・ いいえ
両者の違いを挙げる事ができた。	はい ・ いいえ
違いを意識してあらすじをまとめる事ができた。	はい ・ いいえ

2. 芥川は今昔物語の文章を素材に「羅生門」を創作したと考えられるが、ストーリーの一部を変えた意図について考えたことを書きなさい。(自由に)

3. この学習を通しての感想など (自由に)

【資料6】

1年現代文

相互評価シート

組 番 氏名 _____

さんの作品

※ 該当の点数に○をつける

		5	3	1
評価標準	① 結論は明示してある		/	
	② 小説の内容を踏まえている		/	
	③ 『今昔物語集』との違いについて考察がある		/	
	④ 『今昔物語集』との違いが主題の考察につなげられている			
	⑤ 根拠が明確で主題についての考察に説得力がある			
		合計		

ひとことメッセージ

